

生徒指導部だより No. 2

12月23日(火)目黒学院中学・高等学校生徒指導部発行

- ①梧林祭
- ②スポーツフェスティバル
- ③ボランティア活動
- ④委員会中間報告
- ⑤冬休みの過ごし方
- ⑥読書のすすめ

2025年も残りわずかとなりました。今年は皆さんにとってどんな1年になりましたか。ここで、後期の皆さんの活躍の場面を振り返りたいと思います。

☆梧林祭☆

9月13日(土)、14日(日)に梧林祭が開催されました。各クラス趣向を凝らした企画内容を準備し、クラス全員で協力し合いながら当日の企画発表へと結びつけることができました。また教科・部活動による展示や発表も行われました。日頃の活動の成果を来場者の方々に十分に伝えられたのではないでしょうか。今年も、在校生の家族の方々・小学生（本校受験希望者など）・卒業生をはじめ、多くの一般の方も来場してくださいました。きっと目黒学院の文化の祭典を大いに楽しんでいただけたことだと思います。梧林祭の目的の1つは「時間をかけて準備して発表することを通して、おもてなしの心やプレゼンテーションの力を養う機会とする」でした。この梧林祭で学んだことを今後の学校生活の様々な場面で生かしていくといいですね。



この梧林祭の成功の陰には、梧林祭実行委員、生徒会本部役員のリーダーシップや保護者の方々の多大なご協力がありました。本当にありがとうございました。

☆スポーツフェスティバル☆

12月17日(水)に目黒学院記念館でスポーツフェスティバルが実施されました。今年度も生徒が話し合って実施種目を決定し、ドッジボール・フットサル・バレー・バスケットボール・バスケドリブルリレーが行われました。6年生にとっては目黒学院での最後の全校行事となりましたが、団長・副団長を中心に各組団結し、自分のプレーだけでなくチームメイトの応援にも全力で取り組んでいました。学年を超えて、1つの目標に向かって進むことの大切さを再認識できたのではないでしょうか。



昼食時には校長先生と父母の会の方々が腕によりをかけて作ってくださった「手作り焼きそば」をいただきました。どうもありがとうございました。

スポーツ実行委員も準備・運営・片付けに責任を持って取り組み、スポーツフェスティバルを成功へと導いてくれました。本当にありがとうございました。

☆ボランティア活動☆

中学生徒会本部では、「絵本を届ける運動」のボランティア活動を実施しました。この活動は、絵本を読む機会に恵まれないアジアの子どもたちに翻訳絵本を届ける活動です。本部役員の生徒たちが、日本語の絵本に現地の言葉に翻訳したシールを2人1組で貼り、その後シャンティ国際ボランティア協会に絵本を送りました。そして、シャンティ国際ボランティア協会が、届いた本を絵本の不足している地域に届けてくれます。

今後、中学生徒会本部役員では切手整理ボランティアも行い
目黒区内の小学生・中学生・高校生「福祉体験学習」で使用する
福祉教材・車いすの購入費に役立ててもらいます。時間的に
ゆとりがありボランティアに興味のある生徒は積極的に参加し
てみてください。



☆各委員会後期活動中間報告☆

先日中学生徒会本部役員と各委員会の委員長が集まり、後期の活動の中間報告を実施しました。この委員長会議では、以下の内容が報告されました。

【風紀・生活・保健委員会】

高校生の風紀委員と中学生の生活・保健委員が協力して、朝8:00時から校門で挨拶運動を実施しています。みんなで大きな声で挨拶をすることができています。

【美化委員会】

週1回、イングリッシュ・カフェの2つの水槽の掃除や餌をあげています。美化委員はみんな自分の分担を守って責任を持って役割を果たしています。

【放送委員会】

スポーツフェスティバルの当日の実況を行いました。また、現在不定期に実施している昼休みの音楽放送を今後は定期的に行いたいと思います。

【新聞・文庫委員会】

梧林祭の各学年・部活動の取り組みを特集した学校新聞を作成して掲示しました。今後は、学校新聞の発行回数をもう少し増やしたいと思います。



【スポーツ実行委員会】

スポーツフェスティバルの準備・当日の運営・片付けを実施しました。

☆冬休みの過ごし方

規則正しい生活を送りましょう！

起床時間・就寝時間を一定にし、学校に登校している時のリズムを崩さないようにしてください。



外出時はその日の予定を保護者に伝えましょう！

外出する時は、「誰とどこに出かけ、何時に帰宅するか」を必ず保護者に伝え、保護者の許可を得ましょう。

家族のお手伝いをしましょう！

年末・年始は家族全員が忙しくなります。家族の一員として、大掃除や買い物などの家事を積極的に手伝いましょう。

自主学習を計画的に進めましょう！

自分の得意教科の学習や検定試験に備えた学習などに積極的に取り組むと同時に、この長期休暇を利用して苦手教科の学習の時間を確保し、少しづつ克服していきましょう。

2025年を振り返り、2026年の目標を設定しましょう！

冬休み期間中に2025年の自分の成長点と課題点を確認し、さらなる飛躍を目指して新しい年の目標を決めましょう。そして1月からより意欲的に学校生活が再スタートできるようにしましょう。

体調管理に気を配りましょう！

うがい・手洗い・外出時のマスク着用などを徹底し、インフルエンザなどの感染症を寄せ付けないようにしましょう。



☆読書のすすめ☆

目黒学院生に読書に親しんでもらうために、本の紹介をします。

10歳から身につく問い合わせ、考え方、表現する力

齊藤 淳 著 NHK出版新書

この本をお勧めする理由は…

- ①中学生や高校生にもわかりやすい言葉で書かれていて、具体例を交えながら説明してくれるので、読者が「なるほど！」と思える内容になっています。
- ②ただ知識を覚えるだけじゃなく、「なぜ?」「どうして?」と自分で疑問を持つ力の大切さを教えてくれるので、論理的思考や探究心の土台になります。
- ③考えたことをどう伝え、どう話し合うかにも触れていて、授業やクラブ活動、家庭での会話にも応用でき、ディスカッションや表現の練習にも役立ちます。
- ④読者に「どう思うか?」を問いかけ、読者自身に考える練習の機会を用意してくれます。